

## 続・よもやま話

6月から懲役刑と禁錮刑が合体した拘禁刑という仕組みがスタートしました。しかし「何がどう変わったのか」は依然として不透明。受刑者に合せて刑務所側が判断するという曖昧なものです。

ところで、刑務所には進類というシステムがあります。2類・・・手紙を月に7通出せる。面会は月に5回。月に2回、炭酸飲料や菓子を買える。3類・・・手紙を月に5通出せる。面会は3回。月に1回、紙パックジュースや（貧相な？）菓子を買える。3類の受刑者が手にする作業報奨金は月5千円未満。

受刑者のやる気を削ぐような、これらのシステムは監獄法時代に生まれ、比較的新しい法律（2006年施行）によって運用されているにも関わらず、いまだにこの状態。涙　ちなみに1類はCDが聴けるらしい！ 長期刑の人が多い千葉刑では大ベテランもいて、経理工場の班長クラスなど1類の人が4月から20人ほど誕生しているそうです。

映次さんは無事故無違反が7年を越えて、点数獲得のためにチャレンジしているとのこと。1類目指して頑張れ！と言いたいところですが、それより早く出てきてほしいですね！



加藤映次さんへの手紙・ハガキの宛先は、下記中央です。コピーするか切り取るかしてお使いください。



264-8585

千葉市若葉区貝塚町 192

千葉刑務所内

加藤映次様



## 編集後記

西山美香さんに対し、滋賀県警が謝罪しました。（もちろん形だけ。）「取り調べた刑事は謝りに来ないのか」とは西山さんの弁。当然です。しかしその後、三日月大造滋賀県知事から謝罪の手紙が西山さんに届けられたことを弁護団が明らかにしました。しかも直筆！ 手紙には「ご心労やご負担を長引かせてしまったことについて、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます」と書かれていたらしい。殺伐としたニュースしか聞こえてこない昨今、唯一ホッとできるニュースでした。

前川彰司さんに対しては、福井県警は「真摯に受け止める」と反省の弁のみ。謝罪はなし。謝罪のために大川原加工機事件を訪れた公安部長は、不調を訴え続けた末に仮釈放が認められず、胃癌のため獄死した相嶋さんの名前を間違えて「山本さん」と言ってしまう、大川原加工機関係者は全員きょとん。「そ、そんな人いませんけど・・・」 要するに形だけなのです。心はこもっていない。謝りに行った責任者には「いやあ、お疲れさん、汚れ役をよく引き受けてくださいました」なんて労いの言葉と金一封が・・・あ、これも憶測です。勝手な想像です。でも恐らく見当違いではないと確信しています。なにしろ警察の裏金作りも有名な話ですから。（冤罪犠牲者の会 / なつし聡）

■鈴鹿殺人事件・加藤映次さんを守る会 <http://enzai.main.jp/>

〒496-0862 愛知県津島市城山町 1-15 加藤元博 気付

電話・FAX：0567-25-4976 email：yukimotorobin@yahoo.co.jp

■加藤映次、冤罪と闘ってます、【C】刑務所日記 NOW！ <http://eiji-enzai.blog.jp/>

■加藤由紀さん（お母様）のページ <https://www.facebook.com/yukimotorobin>

■twitter 加藤映次：twitter.com/eijienzai0726

※facebook に鈴鹿殺人事件のページができました！ ↓↓

■鈴鹿殺人事件～加藤映次さんは無実だ！ <https://www.facebook.com/suzukasatsujinjiken>